

2021年8月27日

## ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の新たな段階へ

# 大阪大学 D&I スペース、D&I 推進宣言

## スペース完成記念式典及び宣言の公表

9/3(金)13:30~@阪大吹田キャンパス

### ❖ 概要

大阪大学は、誰もが学びやすく働きやすいダイバーシティ環境実現のため、様々な取組を強化しています。このたび、多様性が真に受容され、尊重される環境を整備するため、吹田キャンパスにダイバーシティ&インクルージョン（以下「D&I」）スペースを設置するとともに、D&I 推進宣言の公表を行います。

D&I スペースは、コミュニケーションエリア、情報発信コーナー、D&I 推進部署のオフィスにより構成されており、スペースのコンセプト検討から設計までコクヨ株式会社及びコクヨマーケティング株式会社に協力をいただきました。

また、D&I 推進宣言は、2016年の『大阪大学男女協働推進宣言』、2017年の『大阪大学「性的指向 (Sexual Orientation)」と「性自認 (Gender Identity)」の多様性に関する基本方針』を継承しつつ、これらを新たな段階へと発展させるために策定したものです。「全構成員の意識改革と学び方・働き方改革」「多様性の尊重と包摂に向けた多角的な取り組み」「ジェンダー平等に向けた均等支援」といった方針を柱とし、D&I スペース完成記念式典にて公表します。

つきましては、本取組を積極的に取材いただきますようお願いいたします。

### ❖ D&I スペース完成記念式典概要

【日 時】 9月3日(金) 13:30 ~ 14:15

【場 所】 大阪大学 吹田キャンパス コンベンションセンター1階

【内 容】 大阪大学の総長・理事、コクヨ株式会社の会長、コクヨマーケティング株式会社関係者等が出席し、テープカット、D&I 推進宣言の公表等を行います。

※ 当日は、感染症拡大防止の観点から、マスク着用・手指消毒などの基本的な取り組みのほかに、メディアの皆様も含めた出席者の人数を厳密に制限しております。

ご取材いただく際は、必ず事前に参加登録のご連絡を賜りますようお願いいたします。(別紙参照)

### ❖ D&I スペース、宣言の背景

大阪大学では、2016年4月に「大阪大学男女協働推進宣言」を公表し、次の取組を行っています。

○2016年9月より、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」<sup>※1</sup>に基づき、大学、企業、研究機関が連携して女性研究者の育成・研究力向上、仕事と家庭の両立支援環境整備、すそ野拡大を推進。2018年度の間接評価では、最高評価であるS評価を受けました。

○2018年11月より、同事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(全国ネットワーク中核機関(群))」<sup>※2</sup>の幹事機関として、全国180機関が参画する「全国ダイバーシティネットワーク」を形成するとともに、国内外の取組動向や参考事例(グッドプラクティス)を収集・公開し、全国的な普及・展開を図るウェブサイト運営。



大阪大学  
OSAKA UNIVERSITY

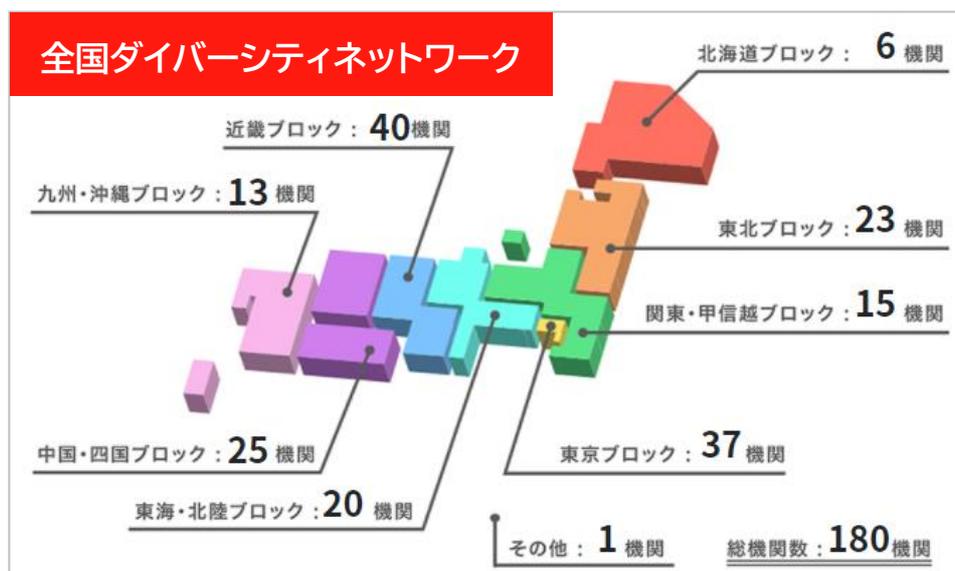
国立大学法人 大阪大学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1

TEL: 06-6877-5111 (代)

www.osaka-u.ac.jp

## Press Release



○2031年度の女性研究者比率30%達成を目標に、比率向上の施策及び両立環境整備を実施。この結果、大阪大学の女性研究者割合は2021年5月時点で21%に達しました。

○女性管理職比率向上のため、職員について「女性リーダー育成プログラム」を実施。意思決定過程の女性比率について、経営協議会委員の女性比率が30%以上、総長補佐の女性比率が29%に向上。

同時にSOGI<sup>※3</sup>について次の取組を実施しています。

○2017年7月に『大阪大学「性的指向 (Sexual Orientation)」と「性自認 (Gender Identity)」の多様性に関する基本方針』を策定し、オリジナルのトイレサインを提案。

○基本方針策定後、学生の通称使用の要件見直し、教職員の「性的指向・性自認による通称使用」可能、「SOGIの多様性に関する学生への配慮・対応ガイドライン」の策定、トイレサインの使用推奨（豊中市男女平等教育啓発教材小学生用や兵庫県のカフェでも使用）やセミナー開催などの取組を実施。

○2021年7月～10月をダイバーシティ&インクルージョン強化期間とし、同年8月はSOGIアライ<sup>※4</sup>月間としてSOGIアライの輪を広げる取組を実施中。

○任意団体「work with Pride」が策定する、日本初の職場におけるLGBTなどの性的マイノリティへの取組を評価する指標「PRIDE指標2019」及び「PRIDE指標2020」において、大学で唯一、5点満点である「ゴールド」の評価を2年連続で獲得。

○2019年度に「大阪市LGBTリーディングカンパニー」認証制度において、最高となる三つ星認証。



大阪大学が作成したトイレサイン

大阪大学は、多様性（ダイバーシティ）が個人のアイデンティティとして当たり前包摂（インクルージョン）される環境作りこそが、組織全体としての活力を発展させるために不可欠と考え、D&I推進宣言を公表するとともに、コンベンションセンター内にD&Iスペースを設置します。今後、現在の男女協働推進センターをD&I推進センターへと発展的に改組する予定であり、D&Iスペースは今後、本学のD&I推進活動の拠点となります。

## ❖ 用語説明

### ※1 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）

女性研究者がその能力を最大限発揮できるよう、出産、子育て又は介護と研究を両立するための環境整備を行う取組を支援する事業です。「牽引型」は、大学や研究機関が企業等と連携し、連携する各機関はもとより、その他の機関を含めた地域や分野における女性研究者の活躍促進を牽引する取組で、大阪大学は国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所、ダイキン工業とともに2016年度に採択されました。

<http://www.danjo.osaka-u.ac.jp/2016/09/post-3171/>

### ※2 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（全国ネットワーク中核機関（群））

女性研究者を取り巻く研究環境整備や研究力向上に取組む機関をつなぎ、将来的に自立して活動を行う全国ネットワークの構築を目指し、国内外の取組動向の調査やその経験、知見の全国的な普及・展開等の支援を図る中核機関（群）に対して支援する事業です。大阪大学は2018年に唯一採択され、幹事機関として全国ダイバーシティネットワークを形成・拡充し、現在では180機関が参画するネットワークとなっています。また、「全国ダイバーシティネットワークプラットフォーム」の構築として、ウェブサイトを運営しています。

<https://www.opened.network/>

### ※3 SOGI

Sexual Orientation（性的指向）と Gender Identity（性自認）の英語の頭文字をとった言葉です。どの性別の人を好きになるか（性的指向）と自分自身の性別をどう認識するか（性自認）は別の概念です。よく使われる LGBT※という言葉はセクシュアル・マイノリティの「人」を限定的に表しますが、性的指向も性自認もグラデーションであり、マジョリティ・マイノリティの二分割はできません。大阪大学では、「すべての人がそれぞれの性的指向・性自認をもっている」という考え方にに基づき、性的マイノリティだけでなく、多数派も含めたあらゆる人の性の在りようを示す SOGI という文言を選択しました。

※LGBTとは、一般的に次のことを指します。

L：女性の同性愛者（Lesbian：レズビアン）

G：男性の同性愛者（Gay：ゲイ）

B：両性愛者（Bisexual：バイセクシュアル）

T：出生時に割り当てられた性別（生まれた時の戸籍の性別）とは異なる性別の性自認・ジェンダー表現のもとで生きている人々の総称（性同一性障害者を含む）（Transgender：トランスジェンダー）

決められない、決めたくないという方も含めて LGBTQ+と表現することもあります。（Q：クエスチョニング、クイア）

### ※4 アライ

英語の Ally（同盟、支援者）が語源で、LGBT のことを理解し、支援しようとする人のことを指します。LGBT 当事者であってもなくてもアライになることができます。大阪大学ではセクシュアル・マイノリティに対して「敵か味方か」という枠組みでアライを捉えるのではなく、性的指向、性自認の多様性を当たり前に尊重し、互いに認め合える同盟者でありたいという意味を込め SOGI アライという用語を用いています。